

目次	頁
序	
凡例	
恐慌と戦争下の愛知県	1
第一章 昭和初期の県政	13
第一節 恐慌期の県行財政	14
昭和天皇の即位と愛知県／市町村合併と瀬戸市の誕生／地方制度の改正／緊縮財政と恐慌対策／ 軍事・防空演習と山東出兵／コラム ハンセン病と小笠原登	
第二節 政党内閣制の政治状況と県会	34
立憲民政党の成立と県政界／無産政党的登場／男子普選による県会議員選挙／ 民政党の大勝と無産政党的不振／第十六回衆議院議員総選挙／普選壇と加藤高明像／ 田中善立らの民政党離脱／政党内閣期の県会／政党の新しい支持基盤の模索／無産政党的再編	
第三節 満州事変と「非常時」の形成	56
満州事変と軍部への支持／地域社会での軍部支持活動／国際連盟脱退と「非常時」／第三師団の満州派遣／ 高橋財政期の地方財政／時局匡救土木事業の展開／県行政の膨張と機構の再編	
第四節 政党政治の動揺	74
満州事変の開始と政党／二大政党の動揺／東三河の国家社会主義勢力／選挙粛正運動／「非常時」の県会／ 二・二六事件後の政党と県会／無産政党的の日本主義化	
第二章 恐慌と経済の軍需化	91
第一節 金融恐慌と昭和恐慌	92
昭和二年の金融恐慌とその影響／昭和六～七年の金融恐慌／明治銀行の休業と金融恐慌収束／ 昭和恐慌と諸工業／景気回復と諸工業／コラム 第八高等学校と昭和における経済関係の卒業生の活躍	
第二節 軽工業と在来産業の変容	108
綿紡織業の発展／毛紡織業の急拡大／昭和恐慌の打撃と蚕糸業／組合統制の進展／ 窯業の合理化と機械化の進展／食品工業と洋食化の進展／木材加工業の変容	
第三節 重工業の進展と軍需化	130
重工業化の進展／自動車製造事業の開始／鉄道車両工業の発達／金属・工作機械工業の拡大／ 航空機工業の出現と発展／軍工廠の高度化／恐慌・景気回復と電力業	
第四節 流通と金融の変容	154
動揺から振興と統制へ／都市の中小商工業者の増加／日用品流通の組織化／食品卸売業界の動揺／ 商品の近代化と流通の再編／貿易の拡大と多様化／県内大銀行と都市銀行支店／中小銀行の合同と再編／ 郵便貯金と組合金融の進展	
第三章 都市化の進展と社会運動	179
第一節 「百万都市」の誕生と県内各都市の発展	180
県内における都市化の諸相／「百万都市」名古屋の誕生／博覧会と国際都市化／「大名古屋」の市政／ 特別市制運動とその挫折／中小都市の振興と工場誘致／市域拡張の動きと土地区画整理／ 中小都市の都市計画事業／都市計画の対象の拡大	
第二節 都市化と運輸・通信網の拡大	200
名古屋駅の完成／省営自動車事業の創始／交通調整と名古屋鉄道の成立／関西急行電鉄の開業／ 通信機関の拡充／名古屋飛行場の開設／都市内軌道の消長	
第三節 都市生活の展開	216
モダン都市の形成／娯楽の諸相／娯楽としてのスポーツ／名所・景勝地と観光／衣食住の変化／ 衛生・病気と身体の内方	
第四節 女性の社会進出	230
女性の生活の場の拡大／職業婦人の多様化／雑誌で広がる女性の文化／女性のための社会活動／ 婦人参政権要求と選挙粛正／農村女性の実力向上	
第五節 市民・住民運動と労働・社会運動	246
恐慌と労働者の状況／市民・住民運動の展開／消費組合と無産者診療所／労働組合運動／ 治安維持法と社会運動団体弾圧／右傾化する労働運動と抵抗／被差別部落の運動／在日朝鮮人の運動／ 朝鮮人の統合と協和会の成立	
第四章 恐慌と農山漁村	267
第一節 農村の窮乏と農民の生活	268

農畜産物の生産額動向／農畜産物の価格変動／農業生産の変容／小麦の増産／小麦の販売統制／ 恐慌と農家経済／農業所得の回復／農家負債問題	
第二節 地主制の動揺と農民運動	286
恐慌期の小作争議／小作料減免要求争議／小作権・土地関係争議／小作人組合の動向／ 民事訴訟と小作調停／楽田村小作争議／小牧町舟津小作争議／土地所有と小作料の動向	
第三節 恐慌対策と農村経済更生運動	308
時局匡救臨時県会／経済更生運動の展開／農村中心人物・中堅人物／産業組合拡充五ヶ年計画／ 農家負債の整理／経済更生特別助成事業の展開／コラム 二宮金次郎像	
第四節 林業・水産業の変容	332
森林資源の盛衰と匡救事業／森林法改正と森林組合の設立／昭和恐慌と漁村・水産試験場／ 漁業・養殖業の動向／漁業の停滞と養殖業の発展／水産製造業の動向／県内魚市場の変貌／製塩業の縮小	
第五章 昭和初期の教育と文化	351
第一節 教育の諸相と子どもの文化	352
郷土教育の隆盛／生活綴方教育の登場／経済不況による教員給与の減俸／優生思想と結婚・子育て／ ラジオ・映画の普及と子ども／子どもの生活における洋式化／学校スポーツの流行／ 高等女学校の普及と女学生文化／女子専門学校の創設／愛知医科大学の官立移管／ 病弱・身体虚弱児の養護教育／青年学校の発足／昭和塾堂の建設／コラム 青い目の人形	
第二節 思想潮流の変化	376
急進的思想の台頭／プロレタリア文化運動／教化動員運動の展開／国民更生精神作興運動の展開／ 日本精神の台頭	
第三節 都市化の進展と文化	392
昭和初期の都市文化／プロレタリア文学と新興芸術派／大衆文芸合作組合・耽綺社／八高の文芸活動／ 詩・短詩型とその他の文芸活動／新劇運動の本格化／活性化する美術活動／女性の画壇への進出／ 徳川美術館の誕生／陶芸の展開／西洋音楽の動向／コラム 名古屋市立工芸学校の図案科廃止事件	
第四節 伝統文化と農村文化	424
郷土研究の本格化／市史・町村誌の編纂／農民文芸と農民詩／農本思想・農本主義の台頭／ 伝統文化の行方／祭礼の伝承と変化	
第五節 宗教界の動向	438
熱田神宮遷座祭／官祭招魂社移転と戦勝祈願祭／新宗教と神道一致会／仏教の動向と新興仏教青年同盟／ キリスト教各派と日本基督教団	
第六章 戦時期の政治と社会	449
第一節 日中戦争からアジア太平洋戦争へ	450
盧溝橋事件から日中戦争へ／第三師団の出動／戦勝への熱狂と排外運動／国民精神総動員と二千六百年祭／ アジア太平洋戦争の開戦／戦局の推移と戦時体制の強化／戦場の各部隊と軍事動員の拡大／ 県における戦没者／戦没者の慰霊と社会	
第二節 戦時行政の形成と展開	472
戦時下の県政と県知事／市町村の発展と半田市の誕生／戦時財政の進展／三部制の廃止と県機構の拡大／ 地方事務所を設置と広域行政／部落会・町内会の整備／隣組と常会／民間防空体制の強化／ 市制・町村制の全面改正／春日井市と豊川市の誕生／戦局の悪化と行政機構の破綻／ コラム 愛知県庁本庁舎と名古屋市役所本庁舎	
第三節 政党政治の終焉と翼賛政治	500
日中戦争下の民政党・政友会／陶磁器業界と加藤鏑五郎／政党の解散と大政翼賛会／翼賛選挙／ 戦時下の県会	
第四節 総動員体制下の県民	514
国民徴用令と勤労働員／朝鮮人の労働動員と統制／満州開拓移民／「銃後」の軍事援護活動／ 県民の身体管理の強化／女性も総力戦の一員に／女性・子どもの戦時生活／学徒出陣	
第七章 戦時経済と県民の生活	539
第一節 経済総動員体制と民需産業の転換	540
総動員体制の進展／県の動員行政／産業報国会の設立／産業報国会の事業と組織の拡大／ 産業構造の軍需化／軽工業部門の軍需への転換／在来産業の縮小と統制	
第二節 軍需産業の肥大と航空機工業の急拡大	562
生産力拡充計画と重工業／軍需工業の発展／重要機械工業と協力工場／トヨタ自動車工業の設立／	

豊田製鋼の設立／三菱重工業の航空機生産／航空機生産の急拡大／特殊鋼と工作機械生産の急拡大／ 軍工廠の拡大と兵器生産の増大／日本車輛製造と鉄道車両の生産／電力国家管理／コラム 零式艦上戦闘機	
第三節 流通・金融・交通の統制	598
軍需関連流通の増加／配給機構の整備と企業整備／企業整備の促進／貿易の発展と急激な衰退／ 名古屋株式取引所の終焉／戦時金融統制の展開／東海銀行の成立／開業から敗戦までの東海銀行／ 戦時体制に伴う鉄軌道の変化／自動車輸送の統制／コラム 「一県一行主義」と東海銀行	
第四節 農林水産資源の増産・供出と農漁民の暮らし	626
銃後の農家と農業生産／食糧増産対策／耕地造成と農地改良／主要食糧の供出／林業の統制／ 統制下の木材供出／木炭需給調整と県営検査／水産業の統制／衰退する漁業生産力	
第五節 生活統制と県民の暮らし	654
消費統制と経済警察／配給制・切符制の広がり／企業整備と統制団体／ 貯蓄奨励運動の展開／庶民金融機関の統合と新設	
第八章 戦時下の教育と文化	667
第一節 戦時下の児童・生徒の教育と子どもの文化	668
国民学校における皇国民錬成／科学教育の振興／学校転換と学校施設の工場化／ 幼稚園の戦時保育所への転換／街頭紙芝居から教育紙芝居へ／青年学校の義務制	
第二節 戦時下の高等教育	680
名古屋帝国大学の設置／高等専門教育における工業重視／理数系中等教員と医師の養成／ 師範学校の官立移管／岡崎高等師範学校の設置	
第三節 戦時下の文化	686
文芸の諸相と戦争／美術界の報国運動／奉祝美術展と戦争画／戦意高揚と音楽／ 新聞の整理統合と中部日本新聞／戦時下の出版状況	
第四節 戦争遂行と思想統制・抵抗	704
全国水平社愛知県連合会の解散／アジアへ向ける視線／労働環境の悪化と労働者の抵抗／ 宗教者への統制と抵抗／さまざまな抵抗と弾圧／在日朝鮮人の独立運動	
第九章 戦争末期の愛知県	717
第一節 空襲と疎開	718
ドゥリットル空襲とその影響／建物疎開／工場疎開／学童疎開／航空機工場への空襲／ 名古屋市街地への空襲／軍需工場と中小都市への空襲／艦載機・小型機空襲／模擬原爆・原爆投下訓練	
第二節 東南海地震と三河地震	740
東南海地震の特徴と被害状況／三河地震の特徴と被害状況／戦災としての東南海・三河地震／ 報道統制による被害の隠蔽／東南海地震後の救助・復旧活動／三河地震の震災対応と地域社会	
第三節 敗戦と県民	754
学徒勤労働員／女子挺身隊の発足／県民の戦争協力／本土決戦体制の深まり／国民義勇隊の結成／ 学徒義勇隊の結成／徴兵された朝鮮人と中国人捕虜／敵国人抑留所と捕虜収容所／敗戦／コラム 松根油	
あとがき	774
執筆分担	776
引用・参考文献一覧	778
掲載図版一覧	806
資料提供者及び協力者	818
愛知県史編さん関係者名簿	820